

会 議 録

会議名	平成 25 年度 第 2 回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成 25 年 9 月 24 日 (火) 午前 10 : 00 ~ 午後 0 : 00
開催場所	丸亀市役所 別館 5 階第 1 会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">岡本 恵子 金 永子 黒田 英津子 森 茂</p> <p style="text-align: center;">石原 茂 仁科 清 早馬 倫代</p> <p>(欠席委員)</p> <p style="text-align: center;">日野 明世</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 大林 諭 政策課長 小山 隆史</p> <p style="text-align: center;">政策課副課長 渡辺 研介 政策課主任 真鍋 裕章</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価事業の選定について 2. 所管課ヒアリングについて 3. その他
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
政策課長	<p>ただ今より、第 2 回の丸亀市行政評価委員会を開会いたします。本日は、お忙しい中、会議にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>最初に企画財政部長より、ご挨拶を申し上げます。</p>
企画財政部長	<p>おはようございます。本日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。また、会議までにも事業選定など、いろいろと作業に取り組んでいただきお礼を申し上げます。</p> <p>本日の会議で評価事業を最終決定し、次回からは所管課ヒアリングとなりますので、十分に議論いただき、早めに準備を整えてヒアリングに臨んでいただきたいと思います。</p> <p>本市におきましては、9 月議会が終わり、明日からの 4 日間は、平成 24 年度決算の審査を行う議会の決算特別委員会が予定されております。また、10 月中旬には、平成 26 年度予算編成方針が通知され、予算編成作業に入りますが、本委員会の意見につきましては、平成 26 年度予算のみならず、早ければ平成 25 年度後半の事業実施にも反映させたいと考えておりますので、よろしく願います。</p>
政策課長	<p>次に、本日配布いたしました会議資料を確認します。</p> <p style="text-align: center;">< 配布資料の確認 ></p>

政策課長	<p>以後の議事につきましては、委員長に議長をお願いします。</p>
金委員長	<p>それでは、議事に入ります前に、現在8名の委員のうち7名のご出席をいただいておりますので、実施要綱第7条第6項に基づき、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>では、議事に移ります。「議事の1 評価事業の選定について」事務局の説明をお願いします。</p>
政策課真鍋	<p><資料に基づき説明></p>
金委員長	<p>事務局で事業ごとの得票数を整理していただきました。原案としては、委員の半数以上から票を得ている6事業については決定とし、残りの4事業を3票得ている6事業の中から選定してはどうかと考えています。</p> <p>なお、委員の皆様の中で2票以下の事業から特に選定したいという意見があれば、議論したいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
黒田委員	<p>原案どおり、4票以上得ている6事業は決定とし、あとは、3票を得ている6事業の中から4事業を選定するというところでよいと思います。</p> <p><全委員了承></p>
金委員長	<p>それでは、「防災費」「在宅老人福祉事業費」「地域福祉活動援助費」「放課後子どもプラン事業費」「小中一貫教育推進事業費」「子育て支援事業費」の6事業は決定とします。</p> <p>続いて、3票を得ている6事業「塵芥収集事業費」「コミュニティバス・生活バス路線等運行維持費」「観光開発事業費」「子ども読書活動推進事業費」「図書館サービス推進事業費」「自治会振興費」の中から残りの4事業を選定していきますが、選定が難航した場合は、最終的には、各委員の票決により決めたいと思います。</p> <p>まずは、それぞれの委員の各事業に対する考えや意見、質問事項等がありましたらお聞きしておきたいと思います。</p> <p>例えば、私が「塵芥収集事業費」を選定しているのは、事務事業評価が「維持」になっていますが、総合計画に掲げる成果指標の推移は、目標に向けて後退しているものが多くあり、もっと「改善」の余地があるのではないかと考えたからです。他にもこのような意見などはありませんか。</p>
岡本委員	<p>残っている6事業の中には、私が選んだものも選んでいないものもありますので、特に私が選んでいない事業を選んだ委員が、その事業を評価したいと思った理由や意図などをお聞きしたい。</p>

金委員長	では、議題の6事業を選ばれた委員の意見をそれぞれお聞きしたいと思いません。
森副委員長	私が「塵芥収集事業費」を選んだのは、先ほどの委員長の意見と同じところで、成果指標の推移と評価が合っていないように感じたからです。
仁科委員	私が「子ども読書活動推進事業費」を選んだのは、ここでの報償費とは何か、必要性があるのかということに疑問を感じたからです。
政策課真鍋	ブックスタート事業、セカンドブック事業の報償費については、対象のお子さんにお渡しする絵本の購入にかかる支出です。
森副委員長	私が「子ども読書活動推進事業費」を選んだのは、所管課の意見として、「子ども読書推進協議会からセカンドブック事業の成果が上がっていないとの指摘があり、実施方法等の検討が必要」ということがあり、どのような検討がなされるのか気になったからです。
金委員長	「子ども読書活動推進事業費」については、インターネット社会が進行する中で、紙媒体の本だけでなく、電子書籍などについて、どのような取組がなされているのかも気になりました。
早馬委員	<p>私が「コミュニティバス・生活バス路線等運行維持費」を選んだのは、市民から見て使い勝手の良いバス路線にはなっていないと感じるからです。</p> <p>現在は、車が使えない時の代替手段として使うにも不便で、改善できませんかと問い合わせても予算的に難しいという回答でした。にもかかわらず、事務事業評価は必要性、効率性、有効性ともに「妥当」で事業の方向性も「維持」になっており、どのような予算付けがされ、便数や路線の改善に生かされているか知りたいと思いました。</p>
黒田委員	私も「コミュニティバス・生活バス路線等運行維持費」を選びましたが、この事業は総合計画の成果指標の進捗からいえば、非常に成果が出ています。これから交通弱者が増え、また、環境面からもバス利用の促進が求められる中で、もっと工夫すれば、もっと効果が出るのではないかと思います、評価したいと思います。
仁科委員	私の中では、大きな選択基準として、事業の必要性を重視しました。生活の中では赤字であっても必要な事業と必ずしも必要とはいえない事業があると思いますが、必ずしも必要でないものについては、もっと良いやり方を突き詰めなければならないのではないかとこの視点から選びました。

岡本委員	<p>私が「観光開発事業」を選んだのは、観光に力を入れようという機運が高まる中、うまくいっていないように感じるからです。</p> <p>市にもっとうまくやって欲しいと思うことの1番目に、行政活動のPRがあります。今回は外れた「広聴広報活動費」に関わる部分が大きいかとも思いますが、観光事業も同じようにPRが重要であり、市外県外の人にいかにして来てもらうか、泊まってもらうかということについて、もっと有効なやり方、予算の使い方があるのではないかと思います、評価したいと思いました。</p>
仁科委員	<p>市のPRは、行政だけでは限界があります。観光なら商工会議所などと連携して、様々な方面からPRしていくことが重要だと思います。</p>
金委員長	<p>観光協会に対する委託が多いのですが、委託先の選定はどのように行われているのかも気になります。</p>
岡本委員	<p>次に「自治会振興費」については、自治会加入率が低下し、あり方が危ぶまれる中、丸亀ではコミュニティ活動に重点を置いた地域振興を行っています、自治会に対する1世帯300円の補助がどのような効果を生み、地域の課題の解決に繋がっているのか。自分も地域の一員として、そこに目を向けてみたいと思ひ選びました。</p>
金委員長	<p>他に意見もないようなので、票決に入りたいと思います。そして、票決により、残りの4事業が決まった後、先に決定した6事業についても、各委員の意見などをお聞きする時間を取りたいと思います。</p> <p><委員による票決></p>
金委員長	<p>票決により、残りの4事業は、「塵芥収集事業費」「コミュニティバス・生活バス路線等運行維持費」「観光開発事業費」「自治会振興費」に決まりました。</p> <p>それでは、先に決定した6事業についての意見をお聞きしたいと思いますが、合わせて、ヒアリングまでに必要な資料の要望などがあれば、この場で事務局にお願いしておきたいと思ひます。</p>
森副委員長	<p>「防災費」について、南海トラフの大地震の被害想定が大幅に上方修正され、地震や津波など危機管理に対するマニュアル等も全面的な改訂が必要になると思ひますが、どのような状況でしょうか。</p>
政策課真鍋	<p>県の被害想定が8月下旬に公表されましたので、それに合わせた防災計画や備蓄等の見直しに取り掛かろうとしているところです。</p>

早馬委員	<p>災害時の重要な情報収集手段として、市ホームページがありますが、日本語版と比べて、防災に限らず外国語版の情報が大変少ないように感じます。今回の想定で大きな被害が出る可能性があると言われていた市北部には、外国人が多く住んでいる地域もありますので、普段から災害時の対応などの情報を発信しておく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>防災をはじめとする外国人向けの広報の体制や考え方がどうなっているのかお聞きしておきたいです。</p>
金委員長	<p>この場で回答できない質問については、ヒアリングまでに事務局から回答をいただきたいと思います。</p>
岡本委員	<p>外国人向けの情報発信という意味では、防災も観光もそれ以外の分野も同じだと思いますが、市の組織体制で防災や観光や情報発信といった各部署の縦割りになっているのではないのでしょうか。</p> <p>それぞれが別々に役割を果たせばよいということではなく、担当が互いの仕事に関わり合っていることを意識して仕事をする事の大切さを知ってもらうことも、今回の評価で大切なことと思います。</p>
金委員長	<p>「在宅老人福祉事業費」については、事務事業評価で必要性、効率性、有効性ともに「改善」で事業の方向性も「拡充」としてありますが、具体的に何が足りないのか、何をどう見直すのかということについて聞きたいと思います。</p>
岡本委員	<p>在宅老人の現状把握ができていないことに原因があるように思います。そのため、ニーズやサービス量が掴めず、事業がうまくいっていないのではないのでしょうか。また、認知度が低く、利用している人にとっては満足できるものにもかかわらず、知らないがために使わずに困っている方も多くいるのが現状ではないかと思います。介護保険を受けずに元気に暮らしていくために大変よい事業だと思うので、「拡充」という方向性の中身に役に立つ評価をしたいと思います。</p>
森副委員長	<p>昨年度の行政評価報告書では、「高齢者福祉の充実」という施策全体の評価ではありますが「B」評価となっており、「問題が生じないよう事業の進捗を図りたい」という所見もあります。それが、今年の事務事業評価では、先に述べたような評価となっており、なぜ評価が大きく異なったのか知りたい。</p>
岡本委員	<p>「地域福祉活動援助費」のほとんどが社会福祉協議会への補助金ですが、先日、社会福祉協議会と関係の深いボランティア協議会のずさんな会計管理が報道されました。数年前から噂を耳にしていましたが、是正されないまま報道に至ってしまったのであれば、市や社会福祉協議会は何もできなかったのかとい</p>

	<p>う思いがあります。</p> <p>補助金全般に言えることですが、その補助金がどのように使われ、どのような効果があったかなど詳細まで説明できなければならないと思いますので、社会福祉協議会に対する補助金に関しても、そのような資料をいただきたいと思っています。</p>
仁科委員	<p>それは、10事業すべてに当てはまることですので、お金の詳細な使い道については、すべての事業で示して欲しいと思います。</p>
金委員長	<p>「地域福祉活動援助費」については、社会福祉大会や戦没者追悼式の必要性や効果について疑問があるので知りたい。また、福祉活動団体援助費7団体の選定理由と金額の根拠などを教えて欲しい。</p>
仁科委員	<p>補助金が年々増えていっているという状況はないですか。</p>
企画財政部長	<p>合併後、行政改革において、補助金の適正化に取り組んできました。特段の理由がない限り、補助金が増額することはありません。</p>
石原委員	<p>「地域福祉活動援助費」の中に事務費がないが、どう考えればよいのか。</p>
政策課真鍋	<p>事務費は、それぞれの予算事業に割り当てられず、管理費等に一括して計上している場合があります。</p>
金委員長	<p>「放課後子どもプラン事業費」で、放課後留守家庭児童会や放課後子ども教室のニーズはどうなっていますか。教室数の不足や時間延長などの要望はありますか。</p>
政策課長	<p>子ども・子育て関連3法が施行され、市において子ども・子育て支援事業計画を作ることとなりましたので、近々ニーズ調査を行う予定です。その結果が出れば、より詳しいニーズも把握できると考えています。</p>
金委員長	<p>「子育て支援事業費」の地域子育て支援拠点事業（ひろば型・センター型）の利用料が大変安いですが、保育料と比べてどのように理解すればよいのか。事業自体がまったく違うのは分かりますが、どうやって受益者の負担が抑えられているのか知りたい。</p>
石原委員	<p>「放課後子どもプラン事業費」の放課後子どもプラン運営委員等報償費と運営委託料を分けて記載しているのはなぜかお聞きしたい。</p>

早馬委員	「小中一貫教育推進事業費」でどのようなことをして、どのような効果があるのかが見えてこないので、お聞きしたい。
黒田委員	連携協議会委託料と事務費等の具体的な中身がどのようなものか分かれれば、どのような事業か見えてくると思うので、教えて欲しい。
金委員長	事業を開始したきっかけや狙い、今後の見通しも教えて欲しい。
金委員長	意見も出尽くしたようなので、「議事の1」はここまでとして、続いて、「議事の2 所管課ヒアリング」について、事務局から説明をお願いします。
政策課真鍋	<資料2、3に基づき説明>
金委員長	何か質問はありますか。
岡本委員	評価シートでは、必要性・効率性・有効性の視点を「妥当」か「改善」で評価するようになっているが、少し分かりにくいように思います。
政策課真鍋	今回は、所管課による事務事業評価で用いた方式をそのまま使っています。分かりにくい部分があれば変更することも可能です。
岡本委員	事務事業評価がこの方式なら、そのままでいいです。また、視点の中で、「予算や人員に過不足はないか」とありますが、人員の過不足はどこを見て判断すればよいのですか。
政策課真鍋	基本的には、「主要施策の成果に関する報告書」の各事業の従事正規職員数が参考になりますが、あくまでも正規職員数なので、臨時職員数などについて知りたい場合は、ヒアリングの中で聞いていただく必要があると思います。
石原委員	いただいた資料には、収入の情報は入っていないが、どうなっているのか。
政策課真鍋	10事業の中で収入のあるものについては、その情報を提供します。
石原委員	収入を載せていないことに、何か意図はあるのですか。
企画財政部長	決算資料の様式がこのようになっており、特に意図はありません。
金委員長	追加のヒアリングがどのようなになるか、はっきりしません。10月18日を各委員の評価の締切としているので、どのように考えておけばよいですか。

政策課真鍋	<p>全然、時間が足りないようなら、改めて日を設定する必要も出てくると思いますが、少しなら次回会議の冒頭で行うことも可能かと思います。そのあたりは、ヒアリングをやってみないと分からないので、ヒアリング終了後に少し時間をいただきたいと思います。</p>
政策課長	<p>10月18日の締切時点では、暫定ということで評価を提出していただきたいと思います。その後の変更は可能ということで、一旦は、その時点でとりまとめをしたいと思います。</p>
金委員長	<p>わかりました。それでは、ヒアリングについては、事務局案のとおり実施したいと思います。</p>
森副委員長	<p>資料の提供は、前日といわず、できる限り早めに、少しずつでも構わないのでお願いします。</p>
金委員長	<p>最後に「その他」で、事務局から何かありますか。</p> <p><日程調整依頼></p>
金委員長	<p>それでは、以上を持ちまして本日の会議を終了します。皆さまありがとうございました。</p>